



かつなりくん

かりや市議会だより

〈第138号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～



4月から市の組織が一部変わります

刈谷市事務分掌条例及び刈谷市子ども・子育て会議条例の一部改正についてなど23議案を可決

(関連2～3ページ)

住みよい、住み続けたい刈谷市を目指して

各委員会で先進都市を視察(関連4～5ページ)

主な記事	ページ
議決した議案	2～3
委員会視察の報告	4～5
委員会の動き	4～5
一般質問	6～8

刈谷市の未来を担う市内の中学3年生が議会を体験

～図書館の新設を題材に、白熱した討論を展開～

※生徒の感想を5ページに掲載

地方自治制度学習 平成28年10月27日～11月11日 刈谷市役所9階 本会議場

★傍聴をお待ちしています★

※3月定例会の開催予定※

- 2月13日(月) 議会運営委員会(運営を協議)
- 16日(木) 本会議(施政方針、議案説明等)
- 3月1日(水) 本会議(質問質疑)
- 2日(木) 本会議(質問質疑)
- 6日(月) 本会議(質問質疑)
- 9日(木) 企画総務委員会・分科会
- 10日(金) 福祉産業委員会・分科会
- 13日(月) 建設委員会・分科会
- 14日(火) 市民文教委員会・分科会
- 22日(水) 予算審査特別委員会
- 議会運営委員会(運営を協議)
- 23日(木) 本会議(委員長報告・採決)

各会議は10時から17時まで(進行状況等により、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。

本会議：市役所10階、傍聴受付

委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ(生後6ヶ月以上の未就学児、先着順)
傍聴の際、臨時保育室「カンガールーム」をご利用できます。傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ

傍聴の際、手話通訳者派遣制度をご利用できます。

傍聴希望日の1週間前までに議会事務局までご連絡ください。

質問質疑等KATCH放映(106ch)

2月20日(月)、3月3日(金)、8日(火)、14日(日)

詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。

12月定例会のあらまし

この定例会は11月30日に招集され、会期20日間で、12月19日に閉会しました。今回は議案など25件と請願5件が提出されました。

主な議案は刈谷市事務分掌条例及び刈谷市子ども・子育て会議条例の一部改正についてなどです。

◆11月30日～12月2日 本会議
(議案説明、一般質問)
市長から提出された議案についての説明を受けた後、一般質問に入りました。

◆2日 本会議
(議案説明、委員会付託)
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い、それぞれ4名の方が当選されました。

次に、人権擁護委員の候補者の推薦について審議し、推薦することに異議ない旨、答申しました。また、刈谷市事務分掌条例及び刈谷市子ども・子育て会議条例の一部改正についてなど16議案について説明を受け、関係する委員会で審査することにしました。

◆19日 本会議
各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

次に、請願について討論の後、採決しました結果、請願5件はいずれも不採択となりました。

12月定例会での傍聴者数は延べ80人です。

次に、平成28年度補正予算関係7議案について説明を受けた後、予算審査特別委員会を設置して審査することにしました。

◆2日 予算審査特別委員会
予算議案は各分科会を設置して審査することにしました。

◆6日～9日 委員会審査
議案や請願・陳情が審査され委員会での採決が行われました。

◆16日 予算審査特別委員会
予算議案の採決が行われました。

◆19日 本会議
各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

次に、請願について討論の後、採決しました結果、請願5件はいずれも不採択となりました。

12月定例会での傍聴者数は延べ80人です。



主な議案 12月 定例会

今回は、刈谷市事務分掌条例及び刈谷市子ども・子育て会議条例の一部改正についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

条例議案

■刈谷市事務分掌条例及び刈谷市子ども・子育て会議条例の一部改正について

平成29年4月から市役所の組織改正を行い、「施設の長寿命化と財政負担の軽減」「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援」などを行うことができる体制を構築します。

問 長寿保険部を廃止し、福祉健康部に統合する理由は。

答 「福祉健康部」「長寿保険部」「次世代育成部」の福祉関連3部について検討した結果、平成30年度から予定されている国民健康保険の広域化のめどが立ったこと、「福祉健康部」と「長寿保険部」の業務は相互に連携する面も多く、関係が深いこと、健康課の母子保健業務を「次世代育成部」へ移管することなどから統合することとした。

問 企画財政部に施設保全課

を新設する意図は。

答 公共施設全体の長寿命化や更新等を一元管理する専門的な部署として新設する。

■刈谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

平成29年2月1日から、マイナンバー（個人番号）カードを利用し、多機能端末機により印鑑登録証明書の交付を受けることができる規定を追加します。

問 コンビニでの交付見込枚数は。

答 年間1,500枚を見込んでいる。

■その他、人事院勧告に鑑み、議員・特別職（市長、副市長、教育長）の期末手当の支給率を

百分の百六十五から百分の百七十五に引き上げる条例改正について、不安定雇用等の問題がある中、議員報酬等を引き上げることには賛同できないとの反対意見がありました。いずれも原案のとおり可決されました。

単行議案

■工事請負契約の締結について（仮称）刈谷市歴史博物館建設（建築・電気・管）工事

（仮称）刈谷市歴史博物館を建設（仮称）刈谷市歴史博物館を建設します。

- ① 建築工事
 - ② 電気工事
 - ③ 管工事
- 請負契約金額
- ① 22億320万円
 - ② 2億3,328万円
 - ③ 5億2,488万円

契約の相手方

- ① 鴻池・角文特定建設工事 共同企業体
- ② 株式会社松島電気工事
- ③ 辻村工業株式会社

工期

- ① ② ③ 平成30年5月31日

問 建築工事と管工事のそれぞれの入札の流れは。

答 建築工事と管工事は、入札についての公告、入札参加申込みの受付、入札、開札、入札参加資格の審査、落札決定という同じ手順で行う。建築の工事は、特定建設工事共同企業体による施工となるため、入札の公告後、事前に資格確認を行っている。

■業務委託契約の締結について（仮称）刈谷市歴史博物館展示・収蔵庫設置業務

委託契約金額

2億1,384万円

契約の相手方

株式会社丹青社

委託期間

平成31年2月28日

問 特殊な業務と思われるが、入札には反映されているか。

答 専門性の高い特殊な業務を遂行できる実績のある3社を指名して入札を行った。

問 他の建設工事と比べ工期に開きがある理由は。

答 収蔵庫などは建築工事完了後に設置するため工期を長く設定している。具体的には、収蔵庫や展示室を乾燥させた後、エアタイトという機密性が高く展示環境を安定させることができる特殊な展示ケース及び収蔵棚を設置する。

問 歴史博物館に資料を移設する際の作業内容は。

答 移設する資料は、適切な温湿度の管理が必要となる古文書や漆器、軸類や土器である。移設の際は、博物館への害虫の進入を防ぐため、全ての資料を燻蒸するなどの作業が必要になる。

てくる。また、かけがえのない重要な資料を安全に移設するため、専門業者による運搬を検討していく。



歴史博物館常設展示イメージパース

■人権擁護委員の候補者の推薦について

前任者が平成29年3月31日で任期満了となるので、その後任として次の方を推薦することに異議ない旨、答申しました。任期は3年です。

木村 光子 氏（1期目） 末広町

人権擁護委員は、国民に保障されている基本的人権を守るため、法務大臣より委嘱されています。市長は議会の意見を聞き、法務大臣に推薦します。

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査されました。

12月16日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長より報告を受け、19日の本会議において原案のとおり可決しました。

補正する額（一般会計）

17億6,708万6千円

補正後の予算総額（一般会計）

59億4,546万2千円

補正後の予算総額（全会計）

92億3,196万7千円

主な事業 ○JR刈谷駅利用者の安全性確保のため、ホーム拡幅計画の検討や設計を行います。

平成28年度 50万円
平成29年度 320万円
平成30年度 8,630万円

問 JR刈谷駅ホーム拡幅計画設計業務の内容は。

答 刈谷駅の安全性向上のため、ホーム拡幅に関する基本計画調査をJR東海と実施しており、ホーム拡幅の実現性にめどが立ったことから、詳細な設計を行うものである。

問 詳細な設計とは。

答 ホーム拡幅に伴う軌道の線形、刈谷駅南北連絡通路改札前の拡幅、駅コンコースの増床自動改札機の増設などの設計を行う。

問 平成29年度から平成30年度まで債務負担をする理由は。

答 詳細設計に係る検討項目が多岐にわたるため、検討に相当の期間を要するためである。

問 駅ホームからの転落防止の切り札とされるホームドアの整備は考えているか。

答 現時点で設置は決まっていなかったが、詳細設計を進める中でJR東海に強く働きかけていく。※質疑答弁は12月8日時点



12月14日にJR東海が設置を発表!! JR東海の在来線では初!!

刈谷駅にホームドア設置へ（イメージ） ※写真は新幹線名古屋駅

○4月1日から市役所の組織が変わります

現行	
企画財政部	企画政策課 広報広聴課 財務課 契約検査課 情報システム課
総務部	総務文書課 人事課 税務課 納税課
福祉健康部	福祉総務課 生活福祉課 健康課
長寿保険部	長寿課 ぬくもりプラザ 国保年金課
次世代育成部	子育て支援課 夢と学びの科学体験館 子ども課
水資源部	水道課 浄水管理事務所 下水道管理課 下水道建設課 雨水対策課

新	
企画財政部	企画政策課 広報広聴課 財務課 施設保全課 情報システム課
総務部	総務文書課 人事課 税務課 納税課 契約検査課
福祉健康部	福祉総務課 生活福祉課 長寿課 ぬくもりプラザ 国保年金課 健康推進課
次世代育成部	子育て推進課 夢と学びの科学体験館 子育て支援課 子ども課
水資源部	水道課 浄水管理事務所 下水道課 雨水対策課

※生活安全部、市民活動部、産業環境部、建設部、都市政策部、教育部は変更ありません。

市とすするため

各委員会で先進都市を視察～

※印が掲載した項目です。

◆福祉産業委員会 (10月19日～21日)

東京都板橋区 板橋区立企業活性化センターについて
 千葉県木更津市 きさらづ健康マイレージについて
 ※東京都中央区 介護ロボットの活用状況について
 東京都八王子市 障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例について

◆企画総務委員会 (10月12日～14日)

神奈川県厚木市 公共施設最適化の推進について
 千葉県佐倉市 地域防災力向上の取り組みについて
 ※千葉県我孫子市 広報戦略による魅力発信について

先進的に介護ロボットを導入する施設を視察

－介護職員の職場環境の向上に寄与する－

福祉産業委員会委員長 佐原 充 恭

目 的

本市でも介護ロボット導入促進費の補助が始まったことから、先進的に介護ロボットを導入している施設を視察し、機能や効果を学ぶ。

視察内容

特別養護老人ホーム「新とみ」では介護職員の職場環境の整備と利用者の生活の質の向上を目的に、国からの各種補助制度を活用しながら積極的に介護ロボットを導入している。本視察では、実際に施設職員がロボットを使用しているところを見せてもらうだけでなく、議員みずからロボットを装着するなどの体験をすることができた。

感想・成果

「新とみ」には力仕事を補助するロボット、利用者の見守りを行うロボット、感情認識ロボットなど、様々なロボットが導入されていた。特に動作補助装置のマッスルスーツは腰に負担のかかる介護者の負担軽減には最適であると感じた。急激な高齢化の進行に伴い、介護ニーズは急増しており、介護士の定着率の低さも問題となっている中で、介護ロボットの積極的導入が望まれるが、過度に依存するのではなく、介護士の育成とバランスを取りながらベストミックスさせていくことが重要だと感じた。



マッスルスーツで腰の負担軽減を体験

広報戦略による魅力発信の取り組み

－メディアを活用したシティセールス－

企画総務委員会委員長 伊藤 幸弘

目 的

若い世代の移住・定住促進に繋がるシティセールスを積極的に展開している我孫子市の広報戦略を学び、本市の魅力発信に活かす。

視察内容

我孫子市では広報戦略を具体化するため、秘書広報課内に「あびこの魅力発信室」を設置し、室長に元アナウンサーを起用して経験を活かしたPR活動を展開している。具体的には、市民参加によるシティプロモーション映像やCM動画の制作、YouTubeやSNSによる魅力の発信、テレビやラジオの利用など様々なメディアを活用した魅力発信を展開している。

感想・成果

刈谷市もまた、まち・ひと・しごと創生総合戦略で「若い世代が生涯の居住地として選択し、将来に明るい希望を抱くことができるまち」を目指しており、シティセールスによる魅力発信は、その実現に向けた最前線の取り組みとなるため、全庁各部局が一丸となって情報収集に努め、多様な広報媒体を効果的に駆使し配信して行くことが必要。更には、本市の魅力在全国に広く発信するため情報技術のノウハウを磨く必要があり、その強化には我孫子市のような専門プロモーターの配置も検討すべきと感じた。



我孫子市のシティセールスに学ぶ

委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

刈谷市まちなかマネジメント構想(刈谷駅北口周辺エリア)

問 構想の事業が実現されるまでの期間は。

答 刈谷駅北口周辺の10年、20年先を見据えた今後の基本的な方向性を示すために策定したもので、期間については明記していない。

問 刈谷駅北口周辺エリアで電線類の地中化の予定はあるか。

答 刈谷駅前線の道路形態を見直す中で電線類の地中化を実施していく。

その他「駐輪場の放置自転車対策」「職員の時間外勤務の状況」「刈谷市の選挙記録」などが話し合われました。

福祉産業委員会

かりや健康マイレージ

問 事業の目的は。

答 若者から高齢者まで、健康に関心の高い方はもちろんのこと、今まで生活習慣や健診の必要性を意識してこなかった方にも、楽しみながら健康づくりに取り組むきっかけとしてもらうことを目的としている。

問 周知の方法は。

答 9月1日号の市民だよりへの掲載や市ホームページ等で周知を行い、福祉健康フェスティバルを初めとした様々なイベントでも周知を図っている。

その他「強度行動障害者支援」「高齢者医療費助成」「TTP」などが話し合われました。

建設委員会

刈谷駅北地区整備事業における事業計画

問 現計画案では、人の動線が非常に窮屈に感じられる。また、トイレの記載がない。ハイウェイオアシスに学び刈谷のトイレット文化、おもてなしの心をもって計画の改良をしてはどうか。

答 人の動線確保については、今後実施する建築計画に反映できるように事業者と協議を重ねていく。トイレについては、事業者が設計を進める中で、設置の検討をするという。

その他「公共駐車場」「道路の空洞調査」「刈谷城(仮称)刈谷スマートインター」などが話し合われました。

市民文教委員会

学校給食費の改定

問 過去に給食費を見直した経緯は。

答 平成元年の消費税導入、平成4年の食材費の高騰、平成12年の学校給食用米穀値引き措置廃止等の際に改定してきた。

問 今回の値上げを契機に、地元食材をさらに活用してはどうか。

答 地元食材による食育や、魅力ある給食の提供は大切であるため、今後も活用を検討する。その他「修学旅行の現状」「子ども会への支援」「病児・病後児保育事業」などが話し合われました。

魅力ある刈谷

～住みよい、住み続けたい刈谷市を目指して、

◆市民文教委員会（10月12日～14日）

- 新潟県糸魚川市 子ども一貫教育について
- 石川県かほく市 かほく市ママ課の取り組みについて
- ※石川県金沢市 学生のまちの推進について

◆建設委員会（10月19日～21日）

- 東京都府中市 スマートインターチェンジについて
- 千葉県千葉市 道路インフラの長寿命化計画について
- ※神奈川県 史跡小田原城址本丸・二の丸整備基本構想について
- 小田原市

学生が愛着を感じるまちづくりの推進

－学生・地域・行政による市民協働－

市民文教委員会委員長 白土 美恵子

目的

愛知教育大学を初め、多くの学生が集う刈谷市の魅力向上のため、金沢市における学生のまちの推進について、具体的な施策を学ぶ。

視察内容

平成22年に学生のまちとしての伝統と誇りを継承発展させ、希望と活力に満ちた魅力あふれるまちづくりのために「金沢市における学生のまちの推進に関する条例」が制定された。条例に基づき、学生のまち市民交流館を市が運営し、そこで学生が地域住民と交流しながらまちづくり活動に関わっており、3者の協働でまちが活性化している。

感想・成果

市民交流館では、コーディネーターを配置し、学生に対するまちづくり活動の相談窓口を設置しているが、住民登録の手続きの方法等、日常生活における相談も一元的に受け付けており、学生が安心して生活できていることに感心させられた。金沢市の取り組みを参考に、学生時代を刈谷市で過ごした方が今以上に刈谷に愛着を感じ、刈谷を定住地として選び、また刈谷市を「第2のふるさと」と思っただけのように、大勢の学生との交流を深めることができる施策が重要であると感じた。



市民交流館の交流ホールで学ぶ

市民参加型による歴史的建造物復元の取り組み

－小田原城馬出門の石垣修復整備に学ぶ－

建設委員会委員長 加藤 廣行

目的

亀城公園歴史的建造物復元について、議会での十分な審議を尽くすため、復元整備の手法、市民の理解を深める取り組みを学ぶ。

視察内容

小田原城址周辺は、国の史跡に指定され、適切な保存・活用が求められている。文化庁との協議結果を反映させた史跡整備の基本指針「本丸・二の丸整備基本構想」に基づき、平成17年から20年に馬出門の石垣復元が伝統工法及び当時の材料を用いて行われている。工事の見学会では、石垣の裏込めに使われる栗石に市民の名前を記入してもらうなどの市民参加イベントも開催されている。

感想・成果

本市では、多門櫓、隅櫓、石垣、土堀、土塁の復元計画がある。小田原市との歴史的背景は違うかもしれないが、生まれ育った郷土の歴史や文化を後世に伝えていく役割を担っていることは共通と感じた。また、小田原城の復元整備は、市民参加型の事業を計画しながら進められており、市民から好意的に捉えられている。今後、本市においても市民参加型の事業を展開するほか、城下町・宿場町の風情が感じられる整備を行っている小田原市に倣い、地域あげての活性化に繋げていく必要がある。



復元された小田原城馬出門

議会トピックス

◆議会運営委員会で先進都市を

視察

日時

平成28年10月26～27日

視察項目

災害時の議会対応について

視察先

埼玉県春日部市、東京都文京区

目的

災害時における議会対応マニュアル等を作成するため、各議会の取り組みを調査する。

視察内容

災害時行動の手引について、策定及び改正を重ねた経緯と内容の説明を受けた。

感想・成果

災害時の議会対応について、発災期、初動期、中期、後期と時期を分け、活動内容が整理されていた。発災期・初動期においては職員が対応に専念できるように配慮し、議員は地域での救助や救援に努め、中期・後期においては議会の機能を停止することなく、議決機関としての機能を果たすことが規定されていた。

本市議会においても災害時の組織体制を定めるなど、今後、対応マニュアル等の作成を進めていきたい。



災害時の議会対応について学ぶ

◆中学3年生が議会を体験

市内の中学3年生が、「地方自治制度学習」として、刈谷市議会を訪れました。

生徒は図書館の新設条例を題材に、その賛否を議論しました。討論では、図書館を新設すること、その地域が活性化するか賛成といった意見や、近隣市を含め広域的には図書館は充足しているため反対であるとの意見が出るなど、白熱した討論が展開されました。

生徒の感想

・政治（議会）を身近に感じる事ができた。

・議会に対して、マイナスイメージしかなかったけど、市民の声を取り入れるためにとっても大切な場所だと感じた。

・市議会は、自分たちの生活に密着している。18歳になったら必ず選挙に行き、みんなで市のことを考えていきたい。

・インターネットで実際の話し合いの様子を見てみたい。

・しっかり公約などを確認した上で選挙に参加し、自分も刈谷市の力になりたい。

・家に届く議会だよりを読んで、もっと市議会のことを勉強したい。



議場で記念撮影

で、刈谷の歴史が紡がれ、刈谷への誇りと郷土愛が育まれていくことになる。そのためには、関係団体を含め、幅広く市民に展示内容や施設の活用についてのアイデアを求め、市民に企画運営に参画していただくことが重要となる。また、児童生

櫻谷 勝 議員

被災者支援システムを導入し、災害時における支援体制の整備を

―県との共同開発と同時に単独導入も研究していく―

(主な答弁者：生活安全部長)

問 被災者への公平な支援を効率的に実施するために、個々の被災者の被災状況や支援状況等を一元的に集約した「被災者台帳」を整備することは大変効果的である。地方公共団体情報システム機構が無償で公開・提供している「被災者支援システム」の県内における導入状況は、

答 平成28年2月に行った県の調査によると、本稼動しているのは12市町、テスト稼動は4市町である。

問 本市は、平成27年度にいち電子自治体推進協議会と県内各市で研究部会を立ち上げ、共同利用化に向けて被災者支援システムを研究しているとのことである。災害が頻発している中、被災者台帳の整備が急務であると考えるが、被災者支援システムの単独導入を検討しているかどうか。

答 あいち電子自治体推進協議会に少しでも早いシステム導入に向けて働きかけていくとともに、以前から調査・研究している被災者支援システムの単独導入についても、改めて研究を進めていく。



無償で提供されている支援システム
西宮市ホームページより

山内 智彦 議員

将来の市の発展のために他市を凌駕する人材育成を

―前例にとられない柔軟な発想ができる職員を育成していく―

(主な答弁者：市長)

問 熱中症対策として、後頭部から首全体を覆うことのできる工夫された帽子を市内の園児は着用しているが、採用経緯は、
答 幼稚園や保育園の先生など、現場からの声や保護者の意見を参考に園長会で協議したのち、平成15年度から順次導入している。

問 このような事例を刈谷市



園児を日差しから守るために導入された帽子

発信で全国普及させることにより、他市の追随を許さない「役

徒の学ぶ場として、学校教育課との連携も必要となる。これらの手法や施策を検討しているか。
答 歴史博物館では、学校との連携を中心に、ガイドボランティアや関係団体など様々な人たちの意見を取り入れて展示・運営に活かしていく。

問 平成28年2月に行った県の調査によると、本稼動しているのは12市町、テスト稼動は4市町である。

問 本市は、平成27年度にいち電子自治体推進協議会と県内各市で研究部会を立ち上げ、共同利用化に向けて被災者支援システムを研究しているとのことである。災害が頻発している中、被災者台帳の整備が急務であると考えるが、被災者支援システムの単独導入を検討しているかどうか。

答 あいち電子自治体推進協議会に少しでも早いシステム導入に向けて働きかけていくとともに、以前から調査・研究している被災者支援システムの単独導入についても、改めて研究を進めていく。

に立つものづくりのかりや」のシテイセールスが可能となる。しかし、研究開発はトライ&エラーの繰り返しであり、財源と時間が必要である。将来を担う人材育成のためにも強い覚悟で意識改革してもらいたいと思うが、この提案についてどういう見解か。

星野 雅春 議員

伝統的建造物を活用して城下町のイメージづくりを

―現在と過去を結びつけることは重要と考える―

(主な答弁者：市民活動部長)

問 伝統的建造物を保存・活用することは重要である。市内に建造物の有形文化財はいくつあるのか。また、文化財指定の条件は。

答 市指定の文化財は1棟のみである。指定基準は、「明治半ばまでに建築され、古さだけでなく特徴ある建築物に限る」としている。

問 旧肴町の通りに旧商家の建築物が残っている。白壁で格子や板塀のあるこの木造建築物を城下町のイメージづくりに活用できないか。

答 歴史に触れられる地名や石碑などは、本市の歴史に興味を持ってもらうために興味がある。これらの歴史と現在の通りとを繋げることは、過去と現在の繋がりをストーリー化する上で重要だと考えている。

白土 美恵子 議員

乳幼児健康診査においてゲイズフラインダーの導入を

―他自治体の運用実績を注視し、調査・研究していく―

(主な答弁者：福祉健康部長)

問 発達障害は、できるだけ早いうちに、適切な治療とサポートを受けることが重要である。本市における早期発見の取り組みは。

答 4か月児から乳幼児健康診査を実施し、定期的に子どもの発達を確認している。健診時に保護者からの相談があった場合や保健師が子どもの発達や保護者の育児能力に心配があると判断した場合は、臨床心理士による発達相談を受けていただいている。

問 子どもの目線の動きを測

答 常々「4C1S（クリーン・シチズン・チャレンジ・コスト・スピード）」を重視するよう職員を指導しており、人材育成のための投資は大変重要と考えている。今後も、多様な経験、知見、前例にとられない柔軟な発想で仕事に臨むことのできる職員を育成していく。

問 刈谷城があった当時と変わらぬ街並みや、通りなどの名称を、古地図を参考に命名し、現在の銀座通りや於大通りと結びつけてストーリー化してはどうか。

答 歴史に触れられる地名や石碑などは、本市の歴史に興味を持ってもらうために興味がある。これらの歴史と現在の通りとを繋げることは、過去と現在の繋がりをストーリー化する上で重要だと考えている。

問 市民の要介護者の人数を勘案すると、特別養護老人ホーム（特養）と介護老人保健施設（老健）が不足していると思うが、今後の整備計画は。

答 特養は、定員20人の施設が平成29年度に、定員120人の施設が平成30年度に開所する予定である。なお、今のところ老健の開所予定はない。

問 第7期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画を策定する際には、老健の建設計画を織り込むことが重要である。また、今後は介護予防を施策の重点に置くべきであると考えるが、介護予防ポイント事業に地域活動も含めるべきではないか。

答 結果を判断する専門オペレータの養成が必要であり、職員のみでの検査、判定は困難である。今後、他自治体の運用実績を参考に調査・研究をしていく。現在は、臨床心理士の増員により、発達相談のさらなる充実を考えている。

渡邊 妙美 議員

安心して子どもを出産し、育てられる環境の整備を

―引き続き、ともに考え、ともに取り組む支援を実施していく―

(主な答弁者：福祉健康部長)

問 子どもを安心して出産するには、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援が必要。本市の妊婦健康診査等の状況は。

答 妊婦や胎児、産後の母体や赤ちゃんの健康状態を確認する検査等を計18回実施している。

問 健診等の実費負担は。

答 市負担のため無料である。

問 出産等の相談窓口は。

答 保健センター内の「妊娠・子育て応援室」では、保健師等が様々な相談にに応じている。

問 突然の陣痛等で周囲に支援する人がいない場合、病院に移動するためのタクシーを呼んでも利用を断られることがある。この問題を解消するマタニティタクシーについての見解は。

答 有効な交通手段と認識しているが、タクシー会社との連携が必要である。まずは先行事例の調査が必要である。

問 残業などの突発的な事情で子どもを保育園等に迎えに行きにくい場合もある。利用可能な支援事業はあるか。

答 送迎などを地域住民相互の助け合いで実施しているファミリーサポートセンターがある。

中嶋 祥元 議員

高齢者にとつて、安全・安心な仕組みづくりを

―高齢者の地域活動を支援する仕組みを構築していく―

(主な答弁者：長寿保険部長)

問 介護予防ポイント事業は、高齢者の閉じこもり予防や積極的な社会参加を促進する事業であると認識している。今後、さらに高齢者の活躍の場を増やしていくよう、対象施設の拡大や地域活動へのポイント付与について検討していく。また、来年度から始まる介護予防・日常生活支援総合事業への活用も検討していく。

問 第7期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画を策定する際には、老健の建設計画を織り込むことが重要である。また、今後は介護予防を施策の重点に置くべきであると考えるが、介護予防ポイント事業に地域活動も含めるべきではないか。

答 結果を判断する専門オペレータの養成が必要であり、職員のみでの検査、判定は困難である。今後、他自治体の運用実績を参考に調査・研究をしていく。現在は、臨床心理士の増員により、発達相談のさらなる充実を考えている。



ぜひお越しください！！
妊娠・子育て応援室



介護予防ポイント事業の拡充を（活動の様子）

新村 健治 議員

子どもに夢と希望を与えるため、市独自の給付型奨学金制度の創設

(主な答弁者・・・教育部長)

問 子どもの貧困対策として、医療費無料化などを強く求めているが、同様に、小中学校における対策も非常に大切である。東京都荒川区では、就学援助制度の案内と申請の意向確認書を全生徒に配布している。子どもの状況をより詳細に把握できる手法だと思いがどうか。

答 本市では、入学説明会、PTA総会などで全ての保護者に周知をしている。また、民生・児童委員との連携や家庭訪問などで生活実態を把握し、個別に対応にも努めている。



子どもたちの笑顔が未来を描く

野村 武文 議員

子ども医療費助成の対象年齢の拡大

(主な答弁者・・・福祉健康部長)

問 県内で18歳までの医療費無料化を実施している市町村はいくつあるか。

答 対象者は約4,700人で、平成27年度の子どもの医療費1人当たりの支給実績から試算すると、本人の窓口負担3割分を負担することになり、市の負担額は年額約1億9,000万円となる。

問 子ども医療費助成の対象年齢を拡大して、16歳から18歳までの医療費を無料化した場合、

答 自己負担がなくなることで過剰受診を招き、医療費を負担する健康保険組合などの各保険者の財政が悪化する可能性がある。保険者の財政悪化は、保険料の値上げとなって、保険加入者である市民に負担を強いる可能性もあるため、18歳までの医療費無料化は考えていない。



医療費無料は財政運営とのバランスが重要

問 18歳までの医療費を無料化する考えはあるか。

問 4月に改正された自殺対策基本法第13条に、市は「自殺対策計画を定めるものとする」と規定されている。市の方針は、



気付けてください心のサイン (啓発用リーフレット)

清水 俊安 議員

待機児童解消のため新制度による事業所内保育所の整備推進

(主な答弁者・・・次世代育成部)

問 事業所内保育所に対する市の認識は、

答 社員の福利厚生施設の役割を担う一方、多くの児童を受け入れていくことから、待機児童解消を図る上で重要な保育施設の一つだと認識している。



会社が作る保育園 (内閣府ホームページより)

問 新しく創設された企業主導型保育事業と、これまでの子ども・子育て支援新制度による事業所内保育所との違いは何か。

答 施設整備に対して認可保育所と同程度の補助金を受けられるようになったことや県への届け出のみで設置可能であること。利用の際に市の関与が不要で企業の裁量により許可ができることなどの点から、企業が取り組みやすい内容となっている。

上田 昌哉 議員

命を守るために自殺対策計画の策定

(主な答弁者・・・福祉健康部長)

問 刈谷市において9月末までに16名が自ら命を絶っている。対策についてどう考えているか。

答 これまでも、市民健康意識調査の中でストレスや休養についてアンケートを実施している。心の健康づくりに特化したアンケートについては、今後、自殺対策計画策定の際に、参考とすることも考えられるため、有効性について研究した上で判断していく。

山本 シモ子 議員

高齢者の貧困と格差は深刻。70歳以上医療費無料化で応援を

(主な答弁者・・・長寿保険部長)

問 低年金や各種負担増によって高齢者の暮らしは立ち行かなくなっている。貧困の広がりの認識を持ち、実態把握に努めるべきだが、実態把握をどのようにしているのか。

答 生活保護世帯における65歳以上の高齢者世帯は、平成26年4月が203世帯、27年4月が217世帯、28年4月が240世帯となっている。

問 70歳以上の医療費を無料化した場合の試算は、

答 概算で毎年14億円ほどの財源が必要と見込んでいる。



70歳以上の医療費無料化を

編集後記

かけはし

5つの徳(知・信・仁・勇・嚴)をもつ西年を迎えました。

昭和25年、県下で11番目の市として、人口約3万1,000人の「刈谷市」が誕生しました。その後、自動車関連産業の集積地として飛躍的な発展を遂げ、本年市制施行67周年を迎えます。人口15万人となり、今や日本経済発展の中心的役割と産業技術の中核を担う都市として重要な地位を確立しております。市制施行70周年まで、残すところ3年となりました。本市が目指す「人が輝く安心快適な産業文化都市」達成に向け、羽ばたき、飛躍する年になるようお願いいたします。また、市議会として、市民の方々と共に刈谷市の発展に努めてまいります。◆12月定例会では、行政改革、

まちづくり、福祉、介護、医療、歴史、文化、貧困、教育、防災など幅広い分野にわたり一般質問が活発に行われました。本会議員や委員会を傍聴される方も多くなつてまいりました。感謝申し上げます。◆本市では現在、予想される南海トラフ地震などに備え、保育園や幼稚園、小中学校、市営住宅の建て替え及び大規模改造が始まってまいります。また、来年度から全小中学校の普通教室等の空調整備も順次進められ、安心・快適に学べる環境づくりが整えられていきます。◆本年も引き続き、見やすく、読んで楽しい紙面づくりに取り組んでまいります。また、市議会として、市民の方々と共に刈谷市の発展に努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。(議会広報委員会)